

# 気候変動対策 地域から

## 中京 専門家ら行動の重要性訴え

気候変動と未来につ  
いて考える催し「レイ」  
どい2026が17日



燃料からの  
ルギー転換がカギ!  
地域から気候変動の対策を考える重要性を訴え  
る東海学園大の杉山範子教授(京都市中京区、ハ  
ートピア京都)

京都市中京区のハ  
ートピア京都であつた。

気候政策に詳しい専  
門家や「若者気候訴訟」  
の原告らが、個人や地  
域で実践できる取り  
組みの重要性を訴え  
た。

ついでにはまず、東  
海学園大の杉山範子教  
授が気候変動による影  
響について「地域の気  
候に根ざした生活様式  
や文化、料理など、長  
く歴史を培われてきた  
ものを変えざるを得な  
くなる」と指摘。対策  
には「地域からの取り  
組みが非常に重要」と

述べ、京都市や亀岡市  
なども参加し、自治体  
が温室効果ガス削減な  
るための重要な手段

をみせていることを紹  
介した。

熱中症対策にも言  
及。エアコンの適切な  
使用や外出自粛を呼び  
かける日本の自治体を  
「対症療法的だ」とし  
、「欧州では車やエアコ  
ンから出る人工排熱  
を減らしたり、街路  
樹や水辺を増やして  
ヒートアイランドに  
なるのを防いだりと  
都市の構造を変えよう  
だ」と比較し

た。火力発電事業者に  
酸化炭素排出削減を求  
めて提訴した「若者気  
候訴訟」を戦う京都大  
院生横山裕大さん(25)  
も登壇。「訴訟は国家  
や大企業といった強い  
権力に対して責任を問  
で、私たちの未来を守  
るための一つの方法  
だ」と会場にアピール

した。  
つどいは北区の市民  
団体「レイチエル・カ  
ンパニー」の主催。  
(上田真里美 表)